

伝統と革新

名古屋市音楽教育研究会会長
千種小学校長 堀 嘉和



「昭和35年4月1日起案、同日施行」
これは、名古屋市音楽研究会の会則の施行年月日を表します。つまり、名音研の歴史は少なくとも63年遡ることができます。我々の先輩たちが脈々と築き上げてきた、名古屋の音楽科教育の歴史です。いつの時代も変わらず、名古屋市の子どもたちを中心に据え、小中学校の音楽科教育を推進し、その充実と発展を図ってきました。その伝統を、これからも守り続けなければなりません。

「伝統とは革新の連続である」

最近、この言葉が胸に響きます。革新への歩みを恐れていると、伝統そのものが崩れてしまいます。そもそも、価値のある伝統とは、質の高いイノベーションによって生み出されるものです。ですから、守ることばかりを考えていると、よき伝統を守ることができなくなるのです。旧態依然。つまり、変わることを拒絶。これは、どんな世界でも大なり小なりあります。守るべきものを温めつつ、変えるべき時機を失ってしまえば、必要な改新なきまま、伝統という財産を傷つけてしまいます。そして、組織が大きくなればなるほど、勇気ある革新への一歩は難しいのです。

音楽にかかわる名古屋の先生方、音楽という教科・授業を楽しんでいますか？やりがいを感じていますか？そして、充実感がありますか？我々は、時代の流れを読みつつ、前に進まなければなりません。＜伝統とは革新の連続である＞の信念のもと、変わることを恐れず、みんなで一致団結して、伝統を継承しながら進化しようではありませんか。みなさんの担う未来は、希望です。今年度が、そのスタートの一年になることを願っています。

感じ取る 伝え合う より深く —音や音楽と豊かにかかわることを目指して—

名古屋市音楽教育研究会副会長
名古屋市音楽研究会委員長
高坂小学校 光川 知里



本研究会では、令和4年度から「感じ取る 伝え合う より深く」をメインテーマとして研究を行ってきました。「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、ICT機器等を活用しながら、音楽や他者の思いを感じ取り、自分の思いを言葉や音、音楽で伝え合うことにより、学びを深めることを目指して、多くの実践が発表されました。

しかし、ICT機器の活用が手段ではなく目的化してしまう事例、音や音楽でのコミュニケーションが十分でない事例もあり課題となりました。今後は制限が緩和されることによる教師一人一人の授業の広がりを期待したいと考えます。

そこで、本年度は「感じ取る 伝え合う より深く —音や音楽と豊かにかかわることを目指して—」をテーマとしました。実際に歌ったり演奏したりして表現することは、活動の楽しさを味わうことだけではありません。必要な資質や能力を高め、音楽のよさや他者の思いを感じ取り、試行錯誤しながら伝え合い、追究していく。そこに音楽を学習することへの喜びがあり、音楽に対する感性が豊かになることにつながっていくと考えます。さらに、このコロナ禍の3年間で培った新たな授業の手立てを活用することで、より効果的に深く学ぶことができるのではないのでしょうか。

子どもたちが、仲間と感じ取り、伝え合いながら、主体的に学びを深めることができるよう研究を進め、実りある研修会や行事を開催していきます。

ぜひ、皆様には授業研究部会、教育研究部会や音楽関係行事等に積極的に参加していただきますよう、お願い申し上げます。

音楽教育講演会・総会 5月13日(土) ルブラ王山

【音楽教育講演会】
「これからの音楽科教育について」

講師 名古屋市教育センター指導主事 斉藤 玲子 先生

これからの音楽科教育について、教育センター指導主事の斉藤玲子先生の講義と参加者での協議が行われました。

合い言葉は「**どうする〇〇?**」。

「**今までもこれからも変わらないこと**」とは？

「**音楽科教育を通して子どもを育てる**」とは？

「**音楽的な見方・考え方を働かせる**」とは？

音楽科教師としての教育観をメンバーと共有し、国立教育政策研究所のデータを基に、音楽科教育の「今」や「これから」について考えました。

また、二つの「こいのぼり」を例に挙げ、楽曲の雰囲気に影響を及ぼしている様々な音楽の要素についても考えました。

参加者全員で今後の音楽科教育について「**どうする〇〇?**」と考え、語り合う有意義な講演会でした。



令和5年度 名古屋市教育研究員

名東区 貴船小学校 相羽 美里 先生

「**自らの思いや意図に合う表現を楽しむ児童の育成**」

天白区 大坪小学校 鈴木 彩香 先生

「**思いや意図に向かって主体的に取り組む児童の育成**」



今年度の主な行事

- 8月10日(木) 夏季研修会
 - 11月5日(日) 中学校の合唱と名フィルコンサート
 - 2月17日(土) 冬季研修会
- <日時、内容が未定の行事>
- 生産・文化的部活動指導者講習会

ルブラ王山
愛知県立芸術劇場コンサートホール
ルブラ王山



会報「名音教」は、年3回発行します。

第76号 6月19日(月)

第77号 12月4日(月)

第78号 3月11日(月) 発行予定です。

内容に関するお問い合わせは、
広報部 鎌倉台中 田中省吾まで
【Email tanaka.s1244@nagoya-c.ed.jp】

名音教入会申し込みは
庶務部 守山中 福田純也まで
Tel:791-7141

名音教のHPができました！
QRコードでアクセスできます👉

